

Q5. 血糖値が下がって糖尿病がよくなれば透析をしなくてすむのでしょうか。

A.

糖尿病から腎機能が悪化し慢性腎不全に至り透析導入となる糖尿病性腎症は、今や透析導入患者さんの原因疾患の第1位となっています。このような患者さんの中には、透析療法を開始する前後から血糖値が下がって、以前はインスリン注射や経口糖尿病薬を飲んでいたのに必要がなくなり、食事管理のみで血糖コントロールが可能になっているような方も、時々みられます。この原因としては、血糖を下げるインスリンというホルモンは腎臓で主に分解されるため、腎機能が低下してくると共にインスリンの分解能力も低下し、相対的にインスリンが以前より増えた状態になるためと考えられています。

しかし、一般的には血糖コントロールが良くなっても、長い年月の糖尿病で腎臓の糸球体が徐々に硬化し、ほとんど働かなくなった腎臓の機能は、残念ながら回復しません。だからといってもう血糖コントロールをしても仕方がないというわけではありません。血糖値が高いと、さらに血管病変が進行し、いろいろな合併症（狭心症、脳卒中、視力低下、足壊疽など）が起こりやすくなります。

医師